公益財団法人 大学セミナーハウス

第６回ＥＵセミナー

ＥＵの連帯と統合の新段階

― ポピュリズム・移民・単一市場 ―

日時：2017 年 9 月 22 日(金)～9 月 24 日(日)
会場：大学セミナーハウス（東京都八王子市下柚木 1987-1）

開 催 趣 旨:

昨年決定した BREXIT がいよいよ交渉を開始した。今後この交渉をめぐる展開の中でＥＵはどのように揺れていくのであろうか。そこにはＥＵそのものの本質が浮き彫りにされよう。オランダとフランスではＥＵ離脱派の勢力は押しとどめられた。しかしいずれの政権も安定しているとは必ずしも言い難い。9 月にはドイツで国民議会選挙が予定されている。岐路に立つＥＵの現在を BREXIT を切り口に様々な角度から議論する。

特別講演

「EUの今後」（仮題）

駐日欧州連合代表部 駐日EU大使
ヴィオレル・イスティチョアイア＝ブドゥラ氏（予定）

開 催 要 項

募集人員：80 名(先着順)
対　　象：ＥＵを学ぶ大学生と社会人
参 加 費：会員校学生　10,000 円
一般校学生　12,000 円
社会人　14,000 円
＊参加費には宿泊・食事・資料代、消費税を含みます。
＊宿舎は相部屋です。

申込方法：「大学セミナーハウス」ＨＰの申込フォームよりお申し込みください。
申込締切：9 月 14 日(木)

問合せ先：大学セミナーハウス セミナーグループ
電話：042-676-8532　FAX：042-682-2601
E-mail：seminar-g@seminarhouse.or.jp

事前課題について
ご参加にあたっては、事前課題と参考文献を必ずＨＰでご確認ください。

スケジュールについて
受付･集合：9 月 22 日(金)17 時～18 時
夕　食　：18 時～18 時 45 分
開　会　：19 時
＊開会時間に間に合わない方はお電話にてご連絡ください。
＊スケジュールの詳細は確定メール、またはＨＰをご覧ください。

主催：公益財団法人大学セミナーハウス
後援：駐日欧州連合代表部

★第６回ＥＵセミナー　分科会

講　師　紹　介
（五 十 音 順）

太田　瑞希子

亜細亜大学
国際関係学部講師

押村　高

青山学院大学副学長
国際政治経済学部教授

小久保　康之

東洋英和女学院大学
国際社会学部長・教授

武田　健

東海大学
政治経済学部講師

田中　素香

中央大学経済研究所
客員研究員
東北大学名誉教授

中西　優美子

一橋大学大学院
法学研究科教授

蓮見　雄

立教大学
経済学部教授

福田　耕治

早稲田大学
政治経済学術院教授
日本ＥＵ学会理事長

渡邊　啓貴

ＥＵセミナー企画委員長
東京外国語大学
大学院総合国際学
研究院教授

第１分科会　　イギリスのＥＵ離脱 ― 単一市場と関税同盟へのアクセス―

田中 素香、太田 瑞希子

イギリス国民は 2016 年６月、国民投票によりＥＵ離脱（Brexit）を選択した。イギリスはユーロ非加盟なので、ＥＵ離脱は経済面では関税同盟、単一市場、共通通商政策、共通農業政策などからの離脱になる。ブレグジットの方式はソフト、ハード、超ハード、スムーズの４つを区別すると分かり易い。イギリスのメイ政権は「ハード・ブレグジット」を強調しつつ、自国に有利な離脱条件を引き出そうと考えている。一方、ＥＵ側の方針は、イギリスに居住するＥＵ市民約 300 万人の安全（永住権など）を求めるほかは明確でない。仮に「ハード」となった場合、イギリスの金融市場シティは単一パスポートに代表される単一市場アクセスを喪失し、金融機関の大陸への拠点移転やシティの地位低下を招きうる。製造業が関税同盟アクセスが喪失すると、新たな関税賦課、税関手続き、原産地規則適用という課題に同時対処する必要に迫られる。

第１分科会では主として単一市場および関税同盟の観点からイギリスのＥＵ離脱の経済的影響と課題について考える。参加予定者は毎日の報道関係に注意して自分なりの考えをまとめて欲しい。

第２分科会　　成功ゆえの反動　―ＥＵの「東」―

蓮見 雄、中西 優美子

ＥＵの「東」＝中東欧・バルト諸国は、ＥＵ加盟を契機として経済発展を遂げ、ポーランドやハンガリーは「欧州の工場」となった成功例である。ところが、これらの国々の新政権は、排外主義を強め、民主主義および法治主義を否定するなどＥＵの基本的価値を揺るがす事態が生じている。この背景には、格差の広がりやＥＵに対する信認の低下がある。経済学者と法学者が協力しながら、この問題について考えてみたい。

第３分科会　　ＥＵの民主的ガバナンスと市民社会

福田 耕治、武田 健

ＥＵ/欧州諸国は、金融・財政危機、難民・移民危機、テロリズムの脅威など多様かつ深刻なリスクに直面している。「ブレグジット」以後、他のＥＵ諸国でも欧州懐疑派を勢いづかせ、反ＥＵ統合を訴える極右政党・ポピュリズムが台頭し、ＥＵ脱退の「ドミノ倒し」が懸念されている。ＥＵ統合が、移民・難民危機、ユーロ危機、格差の拡大や貧困、労働市場の分断など、国民、市民社会の分断を深刻化させ、反グローバル化の世論を勢いづかせてきた。第３部会では、欧州デモクラシーとＥＵ統合の危機を招くリスクの社会的背景を明らかにし、市民社会の民主的ガバナンスの在り方について議論する。

第４分科会　　ヨーロッパのポピュリズム

渡邊 啓貴、小久保 康之

ヨーロッパにおいて大衆迎合主義（ポピュリズム）が勢力を急激に伸ばしている。英国のＥＵ離脱、フランスにおける国民戦線の伸張などはその最たるものであろう。反既存体制、反エリート支配、反ＥＵ統合、移民・難民排斥といった主張を掲げるそうした政治運動がどのようにして生まれ、大衆を巻き込んでヨーロッパ政治にどのような危機をもたらしているのか、その行く末はどうなるのか、皆さんと共に考えてゆきたい。

交通案内

●東京駅より約1時間 30 分、羽田空港より約2時間

●最寄駅

JR 八王子駅	各駅よりバスで約 15～25 分
京王線北野駅	（野猿峠バス停下車徒歩 5 分）
京王相模原南大沢駅	各駅よりタクシーで約 10～15 分

＊詳しくはホームページの〈アクセス〉をご覧ください。

大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE